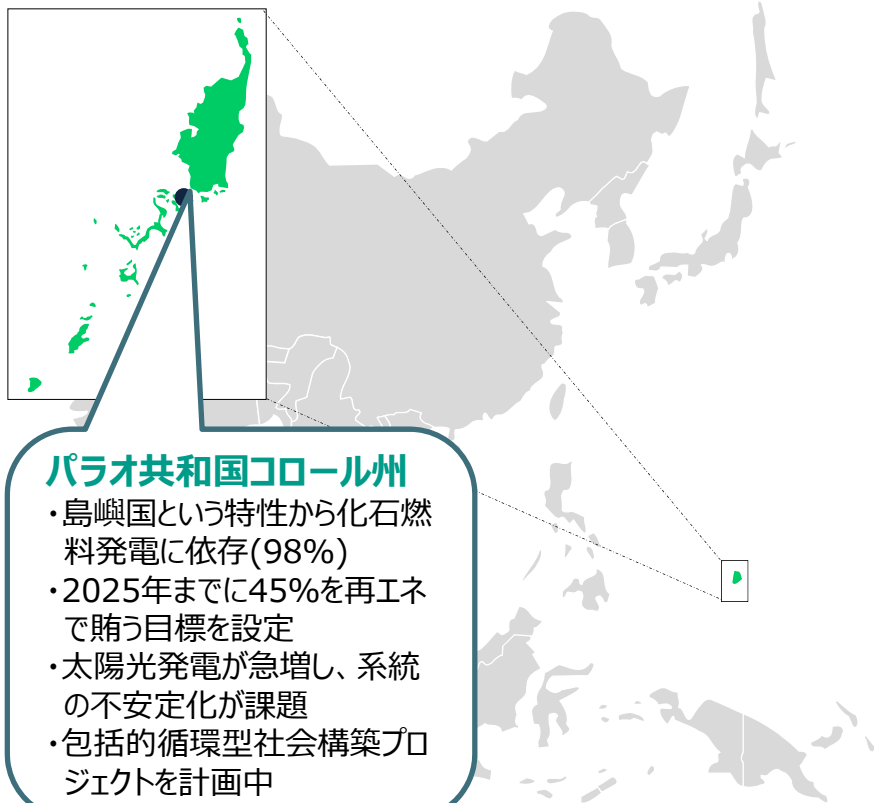


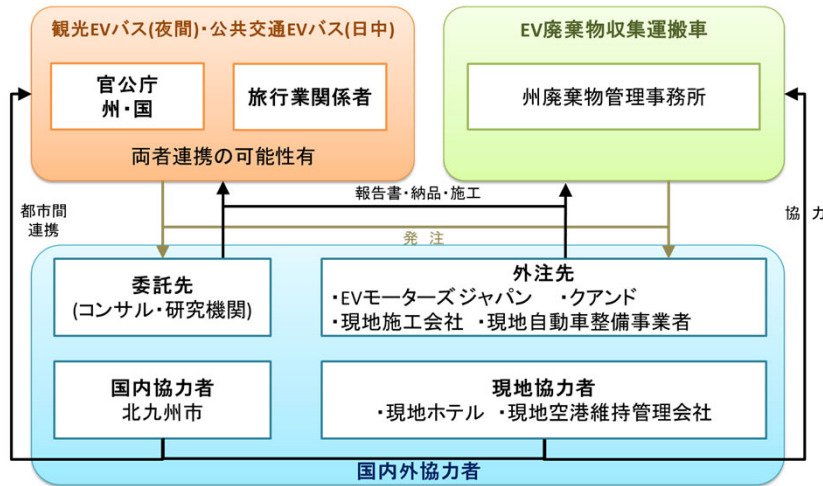
パラオ共和国コロール州-北九州市に関する都市間連携

- ・系統に負荷を掛けない再エネ導入推進のため、PVを活用した商用EV車両(観光・公共交通バス、廃棄物収集運搬車)を走行させることで化石燃料使用を抑制する輸送モデルの事業実現可能調査を行う
- ・2013年から(株)アミタ持続可能経済研究所(当時)、アミタ(株)による同州の廃棄物管理事業の推進をサポートしてきた北九州市に対し、コロール州より「包括的資源循環社会システムの構築」や主要産業である観光分野における省エネ、再エネ拡大施策についての支援要請を受け、脱炭素に資する案件の調査を実施



パラオ共和国コロール州-北九州市に関する都市間連携

【体制図】



【事業活動・成果】

●活動

- ・現地への渡航(2回)の上、関係者(州知事、現地空港維持管理会社、州廃棄物事務所、大使館、現地JICA事務所、観光関連業者等)との協議の実施およびワークショップ(1回)の開催
- ・現地でのリモートメンテナンスに関するテストの実施
- ・観光兼公共交通および廃棄物収集運搬の両分野へのEVおよび充電設備導入に際する事業性評価
- ・現地進行中の「包括的循環型社会構築プロジェクト」の関係者(現地廃棄物事務所、ADB等)との協議を実施
- ・州の脱炭素施策展開のための州施設のGHG排出量算定、状況把握

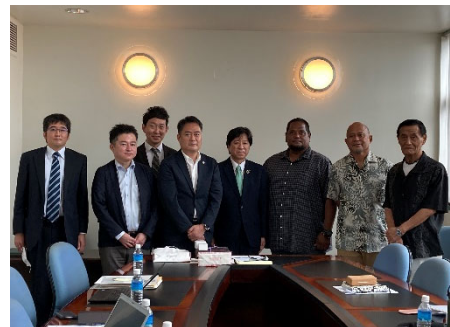
●成果

- ・州政府関係者(知事、議長、公共事業局長)よりバス以外の車両(工事車両等)においても連携、導入の期待が寄せられた
- ・州内の資源循環を目指した「包括的循環型社会構築プロジェクト」の一部として、EVパッカー車の活用を位置付ける方針で現地廃棄物事務所と合意
- ・本事業を通じた交流から公園遊歩道におけるリサイクルウッドデッキ材(北九州市内事業者製品)導入に向けた協議を実施中

【写真】



本事業で導入を検討するEV車(観光・公共バス)



州知事への訪問・意見交換